

「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」の 編集にあたって

北 栄輔^{1,2,a)}

本年度2回目の論文誌トランザクション「数理モデル化と応用 (TOM)」の発刊です。

TOMでは、MPS研究会においてご講演いただき、研究会と同時開催の編集委員会で査読結果をお伝えするという方法をとっています。今年度も5回のMPS研究会開催を予定しています。6月下旬開催のMPS118(沖縄科学技術大学院大学)、7月下旬開催のMPS119(ラスベガス、国際会議PDPTAとの共催)、9月下旬開催のMPS120(小樽商科大学)、12月17, 18日開催のMPS121(電気通信大学)、来年3月開催のMPS122(湯布院温泉、予定)です。本トランザクションの発刊時点では、すでに、MPS118, MPS119, MPS120が終了していると思います。

詳細はHPに掲載していますので、ぜひ、多数のご参加をお待ちしています。

今号では、2017年3月開催のMPS113(沖縄科学技術大学院大学)に投稿されて採録されたオリジナル論文1編、2018年3月開催のMPS117(指宿温泉)に投稿されて採録されたオリジナル論文2編、2018年6月開催のMPS118(沖縄科学技術大学院大学)に投稿されて採録されたオリジナル論文1編と事例紹介論文1編、非連動投稿されて採録となった論文4編のあわせて9編を収録しています。担当編集委員は吉本潤一郎、関新之助、田口 亮、吉田哲也、城 和貴、北 栄輔となっています。

TOMに掲載される論文はコンピュータサイエンスの境界領域を含む非常に広範囲なものになっています。そのため広い分野に対応できるように多くの編集委員を必要としています。これまで慢性的に編集委員が不足している状態です。TOMでは編集委員を常時募集していますので、自薦・他薦を問わず興味のある方はぜひご一報ください。

本論文誌の配布はオンライン版のみとなっています。なお、論文誌の定期購読制度もありますので、ぜひ、こちらもご利用ください。また、研究会開催記録、研究会登録案内、投稿案内などに関する最新の情報はすべてWWWページ

上に掲載しております。すべての情報は研究会ウェブページ(<http://www.ipsj.or.jp/sigmps>)よりたどることができますので、MPS研究会および論文誌TOMに関しては、そちらをご参照くださいますよう、お願い申し上げます。

¹ 情報処理学会論文誌「数理モデル化と応用」編集委員長
名古屋大学

Nagoya University, Nagoya, Aichi 464-8601, Japan

² 神戸大学

Kobe University, Kobe, Hyogo 657-0013, Japan

^{a)} kita@i.nagoya-u.ac.jp